

# 会員拡大特命会議

担当副理事長 増田 顕久  
議 長 大村 猛

## 《基本方針》

様々な技術の発展により、「個」の力でできることが増え、助け合い支え合う感覚が薄れつつある現在、戦後の日本のように「他」を想う利他的な考えが求められています。我々は自利と利他の調和というスローガンを胸に抱き、志を共感し合える人材を巻き込み、MAK 地域に影響を与えられる人財を増やしていく必要があります。

まずは、地域を担う様々な思想を持ったメンバーを増やすために、MAK・JC 全員で会員拡大を実施することで、メンバーの増員を実現すると同時にメンバーの拡大に向けた意識醸成を図ります。そして、効率的かつ効果的な拡大を目指すために、例会毎に拡大実施情報をメンバー全体と共有することで、幅広く新鮮な情報の入手と柔軟性のある迅速な行動に結びつけます。さらに、レスポンスの良い拡大運動を推進するために、アンケートを活用し収集した情報をもとに時間や場所に合った人財を素早く派遣することで、訪問件数の増加と成功率の向上につなげます。また、拡大に対する意識を一過性のもので終わらせないために、新たな会員拡大マニュアルを作成し持続的にブラッシュアップしていくことで、より質の高い拡大を持続できる環境をつくります。

これから先何十年経とうとも、今年の拡大運動をきっかけにメンバー一人ひとりが組織を繁栄させようとする主体者意識を持ち続け、MAK・JC が模範となる多くの人財を持続的に増やし、輩出していける団体を実現します。

## 《運営方針》

1. メンバー全体の意識を醸成し、効果的な会員拡大を実施します。
2. 拡大実施情報を共有し柔軟で迅速な運動を行います。
3. アンケートにより、訪問件数増加と成功率向上に向けた拡大マネジメントを実施します。
4. 持続性のある拡大ができるようマニュアルを開発します。

## 《事業計画》

- |                |    |
|----------------|----|
| 1. 会員拡大の実施     | 通年 |
| 2. 拡大実施情報の共有   | 通年 |
| 3. 拡大マネジメントの実施 | 通年 |
| 4. 拡大ツールの企画・開発 | 通年 |

## 《事業予算》

- |         |     |
|---------|-----|
| 1. 会員拡大 | 0 円 |
|---------|-----|

---

合 計

0 円